



基本理念		つなげよう読書のわ みんなにとどけ本のちから	
子どもたちが読書の楽しさを知り、主体的に本に親しむことができるよう、関係機関と連携して子どもの読書環境を整えていきます。			
目標	項目	基本方針	主な施策
まえばしの子どもの読書活動の推進 （家庭・地域・学校・図書館・関係機関等が連携して読書好きなきな子どもを広く育成し、1か月に1回も本を読まない子どもの割合を減らす）	I 家庭・地域における子ども読書活動の推進	1 親子で取組む読書活動の推進 2 地域活動と一体となった読書活動の推進 3 家庭・保護者への周知啓発	(1) ブックスタート事業の推進 (2) 地域での読み聞かせや周知啓発 (3) 読み聞かせ講座や研修会の開催 (4) ボランティア団体との連携・活動支援
	II 学校等における子ども読書活動の推進	【幼稚園・保育所(園)・認定こども園】 4 子どもたちと保護者に絵本や物語を楽しむ機会を提供 【小学校・中学校】 【高等学校】 【特別支援学校】 5 児童生徒が主体的に読書活動に取り組める環境づくりを推進	(5) 多様な読書体験の提供 (6) 幼稚園教諭、保育士を対象とした研修会の開催 (7) 児童生徒が本を手に取りたくくなるような環境の整備 (8) 授業における読書活動の推進 (9) 学校図書館の活用推進 (10) 学校図書館の物的・人的整備
	III 図書館における子ども読書活動の推進	6 本と出会い、読書の楽しみを知る機会の提供 7 子どもの発達に応じた読書環境の整備 8 各種団体等が行う読書活動の支援	(11) ブックリストや展示等による読書情報の提供 (12) おはなし会や各種イベントの開催 (13) 多様性への配慮や多文化共生に向けた取組 (14) ボランティアの受入と育成・支援 (15) 幼稚園、保育所(園)、こども園、学校等への支援
	IV 関係機関との連携による子ども読書活動の推進	9 社会全体で子どもの読書活動推進に取り組むための連携・協力	(16) 幼稚園、保育所(園)、こども園、学校等との連携 (17) ボランティア団体等との連携 (18) 公共機関、NPO等との連携

前橋市の現状と課題
<p>第三次計画策定前に実施したアンケート調査では、本を読む子どもの割合が全国平均よりも高いことが分かりました。この結果は家庭や地域、学校、関係団体と市の各課が連携して「本と子どもたちが人につながる」事業を推進してきた成果といえます。一方で、少ないながらも本に触れることのない子どもが存在することも事実です。本計画ではこうした現状を踏まえ、より多くの子どもたちに読書活動が広がるよう、多角的な視点から事業を推進することを基本としています。</p> <p>【課題】</p> <p>1 子どもの発達段階に応じた読書習慣の定着 年齢が上がるにつれて読書離れの傾向があるため、継続して本や読書に興味関心が持てるよう取り組む必要があります。</p> <p>2 学校図書館のより一層の活用 学校図書館は子どもたちの成長に重要な役割を担っており、学習活動でより一層活用することで子どもたちにとって身近な存在となることが期待されます。</p> <p>3 デジタル社会に対応した読書環境の整備 活字の本と電子書籍にはそれぞれメリットデメリットがあります。本を読む目的や状況に応じて両者を適切に使い分ける力を身に付けることで読書の質を高めたり幅が広がるよう、子どもたちを支援していくことが求められています。</p>

I 家庭・地域における子ども読書活動の推進
<p>日々の暮らしの中で本と出会い、読書の喜びや楽しみを実感できるよう、子どもと保護者に向けた環境づくりと周知啓発に取り組みます。</p> <p>■親子で楽しめる読書活動を推進し、読書をする子どもの裾野を広げていきます。</p> <p>■本と子どもたちをつなげる「人」との関りを大切に育み、地域の活動と一体となった読書活動を推進します。</p> <p>■家庭での読書活動を推進するため、保護者向け読み聞かせ講座の開催やおすすめ本の紹介、新刊案内などの情報を発信します。</p>
II 学校等における子ども読書活動の推進
<p>生涯にわたり読書に親しむ習慣を形成するうえで、子どもが長い時間を過ごす学校等の役割が重要性を増していることから、子どもの発達状況に応じて乳幼児期から切れ目のない読書活動の推進に取り組みます。</p> <p>■未就学児が毎日の保育の中で絵本と出会えるよう、読み聞かせを行うとともに、保護者に読書の楽しさと大切さを伝えていきます。</p> <p>■学校内で教師や児童生徒、地域のボランティアによる読み聞かせを行います。</p> <p>■調べ学習等の授業で積極的に学校図書館を活用し、学習活動の充実に努めます。</p> <p>■読書の感想を友達と話し合ったり、図書委員会の活動を充実させて児童生徒が主体的に本と親しむ機会を作ります。</p> <p>■保育士や学校司書等、読書活動における指導者の資質向上に取り組みます。</p>
III 図書館における子ども読書活動の推進
<p>子ども読書活動の推進拠点として蔵書の充実を図るとともに、おはなし会やイベントを開催して、親子で多様な読書の楽しみを味わうことができる機会の創出に取り組みます。</p> <p>■おすすめ本リストの作成や季節や社会情勢等に合わせた展示を行い、新たな本に出会う機会を提供します。</p> <p>■ボランティアや関係機関と協働して、本の楽しさに触れるイベントを開催します。</p> <p>■障害のある子どもや日本語を母国語としない子どもが読書を楽しめるよう、外国語の絵本や資料を収集・提供します。</p> <p>■質の高い読書活動の機会を提供できるよう、団体貸出など学校等に向けた事業を充実させます。</p>
IV 関係機関との連携による子ども読書活動の推進
<p>学校等の教育機関、公民館等の社会教育機関、国県等の公共団体やNPOなどの民間団体と連携、協力して読書への関心を高める取り組みを推進します。</p> <p>読み聞かせボランティアと協働し、子ども読書活動を推進するとともに、保護者や地域の大人に向けた啓発に取り組みます。</p>